## 【糖尿病性ケトアシドーシスについて】

**DKA ： Diabetic Ketoacidosis**

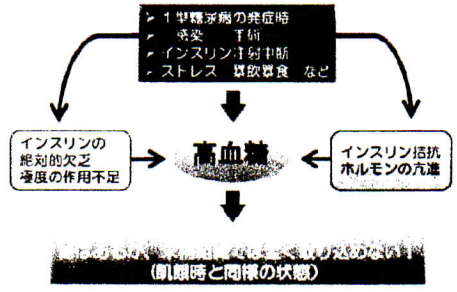
高度なインスリン作用不足にインスリン拮抗ホルモン上昇が加わって生じる代謝失調状態。
糖利用低下、脂肪分解亢進による高血糖と著しいケトン体の蓄積が生じる。

これにより生じる脱水とアシドーシスが本態であり、意識障害（重症では昏睡や死に至る）をきたす。

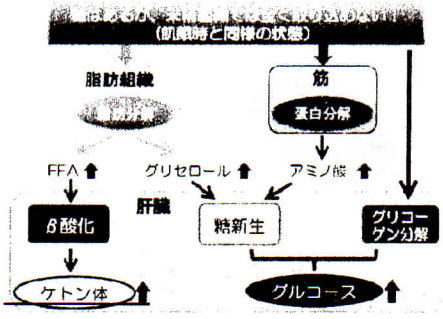
1型糖尿病に多いが2型糖尿病患者のソフトドリンク多飲によっても生じることもある。
（ソフトドリンクケトーシス）

体がアシドーシス（酸性に）

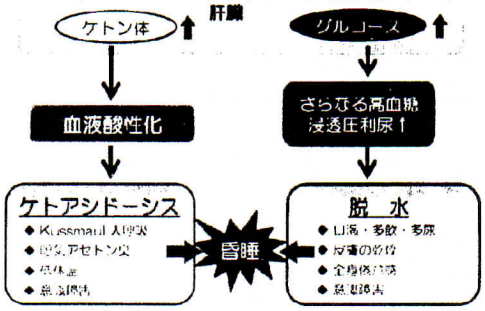
## 【糖尿病性ケトアシドーシス（DKA）の病態 ①】




## 【糖尿病性ケトアシドーシス（DKA）の病態 ②】




## 【糖尿病性ケトアシドーシス（DKA）の病態 ③】



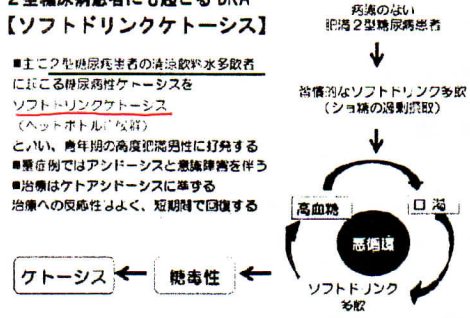

## 【糖尿病性ケトアシドーシス（DKA）の治療】

病態の本態は

| ケトアシドーシス | 脱　水 |
|---|---|
| ↓ | ↓ |
| **インスリン投与** | **輸　液** |
| 1速効型インスリン0.2U 体重kg静注 | 生理食塩水を用いて2～3L |
| 2 0.1U kg 時で少量持続静注 | Na<155mEqならば生理食塩水 |
| ↓ | Na>155mEqなら1 2生食 |
| 血糖は下げすぎない！ | ↓ |
| 250～300mg dl程度で十分！ | 血中K濃度に注意！ |
| 急激な血糖低下→ 脳浮腫 | 落ち着いたら3号液で水量を補充しながらスピード調節 |

インスリンがないから・
ケトンが出るため
注射して
インスリンを入れる・

ペットボトル依存症ともいう

## 2型糖尿病患者にも起こるDKA【ソフトドリンクケトーシス】

■主に2型糖尿病患者の清涼飲料水多飲者
に起こる糖尿病性ケトーシスを
ソフトドリンクケトーシス
（ペットボトル[illegible]）
といい、青年期の高度肥満男性に好発する
■重症例ではアシドーシスと意識障害を伴う
■治療はケトアシドーシスに準ずる
治療への反応性はよく、短期間で回復する